

個別施策管理シート 対象事業年度 平成 24 年度

個別施策11

政策	2 ものづくりの港	施策推進 責任者	港営部長 企画調整室長
基本施策	03 産業の高度化・新展開・創出		
個別施策	11 企業の新たな事業展開を支援する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	ものづくり企業
	サービスの対象物(何を)	名古屋港及び周辺地域の用地
	意図(どういった状態にしたいのか)	新規立地や新たな事業展開をしやすくする
内容	地域産業の高度化・新展開・創出に伴う企業からの要請に対応するためには背後地も含め、総合特区のように関係機関と一体となった取り組みが必要になっています。このため、地域産業の動向や課題を関係機関と調査し、情報共有することによって、企業の新規立地や新たな事業展開を支援していきます。	
目標	名古屋港地域でのものづくり企業の立地(拡張及び新展開含む)の増加を図ります。	目標達成に影響する外的要因等 世界の景気動向、為替動向、設備投資などの企業戦略

成果指標	実績等	年度					目標 H24	指標の説明(式)
		H20	H21	H22	H23	H24		
名古屋港地域にものづくり企業が立地(拡張及び新展開含む)した件数	実績 件	1	1	1	1	1	6	19年度からの企業立地の累計
	達成率 %	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7		
	実績							
	達成率 %							

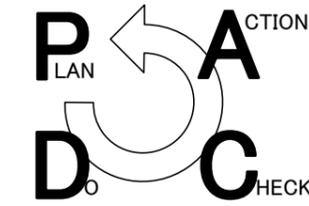
2. DO(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

重点化	担当課名	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な活動・成果指標	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 (年度)	平成24年度実施事業に基づく評価結果					
					実績	実績	実績見込み		平成24年度 末までの 状況 ※1	平成25年度以降の取組の方向性 事務事業 ※2	成果 ※3	コスト ※4	備考(判断の理由・目標年次の変更等)	
					上段: 指標達成状況									下段: 事業費(千円・人件費込)
	(企画調整室) 企画担当	名古屋港産業情報ネットワーク会議の開催(個11事01)	地域産業活性化プラン～名古屋港の戦略的な活用から(14年度名古屋商工会議所)の実現に向け、各自治体の抱える課題を共有し、対応策を検討する場として、会議を開催します。	共有化した情報や課題(件)				3 (継続)	休廃止					
	(港営部) 港湾利用高度化担当	関係機関による産業立地推進事業への協力(個11事02)	愛知・名古屋国際ビジネスアクセスセンター(I-BAC)、愛知県産業立地推進協議会等の事業に協力し、名古屋港のPR活動を行っています。	各セミナー等への来場者数(人)	358 10,825	532 10,598	592 9,827	300 (継続)	順調	継続	➡	➡	企業誘致には関係機関との連携が欠かせず、より効率的で効果的なPR活動を検討しながら進めることが必要のため。	
	(企画調整室) 企画担当	地域産業の動向調査(個11事03)	名古屋港に関係が深い産業分野について、企業に将来計画等聞き取り調査を行います。	把握した情報数(件)	2 1,696	4 3,879	3 3,486	3 (継続)	順調	継続	➡	➡	企業の事業促進や新たな土地利用の展開などには、情報収集が不可欠であるため。	
	(企画調整室) 計画担当	潮見ふ頭再編計画の策定(港湾計画の策定)(個11事04)	潮見ふ頭における産業構造の変化への対応並びに、交通アクセスの利便性を活かした産業空間を検討します。	策定進捗率(%)	34.0 763	38.0 776	50.0 1,307	100 累計 (H25)	やや遅れ	継続	↗	➡	環境変化に対応した港湾のマスタープランである港湾計画の改訂に向けて着実に取り組むため。	
	(企画調整室) 企画担当	南5区Ⅱ工区の活用方法の検討(個11事05)	南5区Ⅱ工区の土地利用(工業用地)に関する調査・研究を行い、有効活用を図ります。	土地利用方策の実現(式)	0 3,392	0 2,155	0 4,794	1 (-)	やや遅れ	継続	↗	➡	暫定利用も含め、早期の土地利用を目指すため。	
	(企画調整室) 計画担当	国際バルク戦略港湾の実現化に向けた調整【再掲】(個11事06)	穀物について、アジア主要港と比べて遜色のない物流コスト・サービスの実現を図るとともに、将来的な穀物ターミナルの保管機能・生産機能の更なる拠点化・高質化、船舶の大型化への対応を32年度を目処に実現を図るための調整を行います。	国際バルク戦略港湾推進協議会及び作業部会の開催(回)		2 (58,643)	2 (20,483)	2 (H32)					【本掲】「04在来貨物等取扱機能を充実する」(個04事05)にて評価	
	(企画調整室) 事業担当	北浜ふ頭における新食糧コンテナ整備の事業化【再掲】(個11事07)	穀物の保管機能及び生産機能の移転集約、拠点化に向け、北浜ふ頭地先で埋立てによる新食糧コンテナ用地(約70ha)の確保に係る調査及び手続きを行います。	作業進捗率(%)			8.3 (86,289)	100 累計 (H27)					【本掲】「04在来貨物等取扱機能を充実する」(個04事06)にて評価	
施策コスト(事業費合計)					16,676	17,408	19,414							

注) 事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。
注) 目標値欄の「(継続)」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則として24年度の間目標として設定しています。

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

平成25年度以降の取組の方向性		平成25年度取組の方向性の判断の理由(本組合財政収支への影響の考察を含む※5)	
区分	成果※3	コスト※4	
拡大維持縮小	↗	➡	<ul style="list-style-type: none"> 企業の新たな事業展開を支援するためには、名古屋港における土地利用計画を早急に取りまとめる必要があると思われます。そのため、成果を拡大としますが、コストについては従来どおり着実に進めるため維持とします。



3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

前年度の評価結果を踏まえて取り組んだ内容と現状における課題認識	
<ul style="list-style-type: none"> 企業ヒアリングや関係団体等におけるPR活動等を実施しました。 潮見ふ頭再編計画の策定(港湾計画の策定)については、計画素案の検討を行いました。関係者との調整が整っていないため、引き続き25年度の改訂を目途に取り組んでいく必要があります。 南5区Ⅱ工区については、災害廃棄物の受け入れの可能性がなくなったことから、関係者による今後の活用方法の検討を行っています。 	
構成事務事業の適正性(構成される事務事業で個別施策の目標を達成できているかどうか。できていない場合は改善策を記入)	
<ul style="list-style-type: none"> 事務事業の構成内容は概ね妥当です。 	